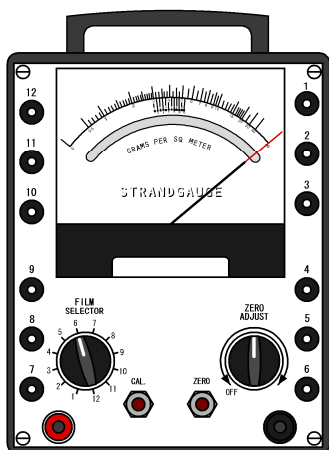


静電容量式膜厚計「アドミッタンスゲージ」 Model 278E

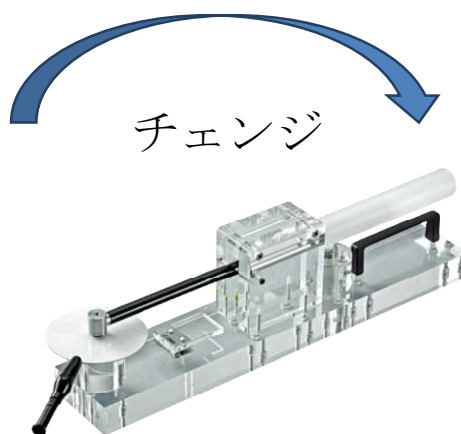
薄膜測定はおまかせ、28年間積み上げた確かな技術

素地の厚みが0.1mm以下で、アルミ板や銅板の凹凸した試験片の膜厚が測定できるデジタル式膜厚計は、世界でもアドミッタンスゲージだけです。

- ❁ アナログ式のストランドゲージをご使用の企業様へ
高精度で読み取り誤差のない、デジタル式に変更しませんか！？
Windows Excel にデーターを保存できます。
- ❁ アルマイト皮膜を渦電流式膜厚計で測定しておられる企業様へ
再現性を比較してみませんか！？



ストランドゲージ



標準プローブ φ9.4mm

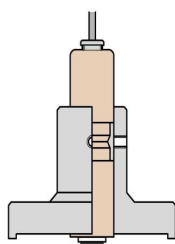


アドミッタンスゲージ

- ❁ 測定対象物は、金属等の導電体上の絶縁物質の厚み測定。素地の厚みが0.1mm以下で、アルミ板や銅板の波うちした板であっても、電極面積が大きいほど測定の平均値とゴムの持つ柔軟性の相乗効果で、誤差要因の影響を最小限にした測定となります
- ❁ 試験片の材質の違いや厚さ、表面粗さ、突起物付近、切り端近の測定誤差はほとんどありません。
- ❁ ハンドプローブでは、素材の金属部と通電できれば、板厚に関係なく、湾曲部等の測定ができます。
- ❁ 測定範囲0.34~40.00 μ m、電極面積φ9.4mmプローブ。また、薄膜ほど精度よく測定ができます。



9.4mm ハンドプローブ



ハンドプローブと治具



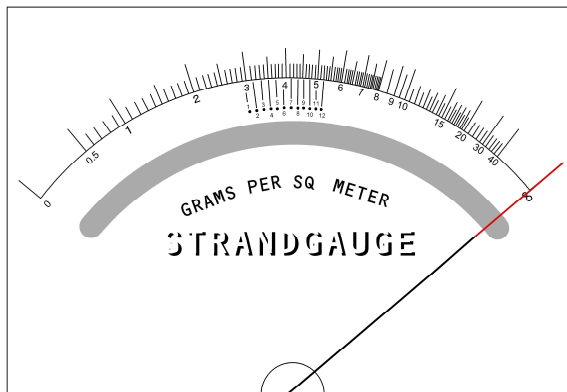
3.5mm & 2.0mm
ハンドプローブ



2.0mm ハンドプローブ
簡易治具

ストランドゲージとアドミッタンスゲージの表示部比較

ストランドの表示



ストランドゲージ

測定前の針の位置です。試験片を測定すると針は左に振れます。

アドミッタンスの表示



アドミッタンスゲージ測定 5 回の表示

測定 (n=5) 5 回 膜厚 TH = 11.47 μm

測定チャンネル : CH = 1 誘電率 Er = 4.525



統計モード、n = 5

平均値 = X、最高 = mx

標準偏 = S 最低 = mn

Windows XP、7、8、10 対応通信ソフト例

	A	B	C	D	E	F
1						
2		2019/7/22	17:06			
3						
4						
5						

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	膜厚	再現性・測定値 : μm					平均	誤差
2	μm	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目	5 回目	n = 5	
3	33.83	33.85	33.83	33.83	33.81	33.82	33.83	0.00
4	22.83	22.88	22.87	22.88	22.88	22.88	22.88	-0.05
5	15.88	15.91	15.91	15.90	15.91	15.90	15.91	-0.03
6	5.09	5.09	5.09	5.09	5.09	5.09	5.09	0.00
7	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	1.02	0.00
8	0.50	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.49	0.01

推奨ソフト : ADE-RS

日時, 手動 Ctrl + ; 時刻, 手動 : Ctrl + :

データ取得位置指定 : シートの任意の位置をクリックすると、その場所から測定の都度自動取得します。
取得方向は、前後左右方向の設定ができます。

報告書を Excel 形式にして、右側の B-3 をクリックすると、B-3~F3 と測定の都度自動的にデータを取得します。

ご注意

アドミッタンスゲージは弊社独自の非破壊・接触式の静電容量式膜厚測定方法であるため、JIS 規格がありません。試験方法も弊社独自の試験方法です。

誘電率の直接設定は難しいため、質量法 (μm) による標準板か重量法 (g/m^2) による標準板を作成して使用します。



静電容量式膜厚計 (アドミッタンスゲージ)
科学計測器・科学機器・設計製作
林技研工業株式会社

〒572-0837

大阪府寝屋川市早子町23-2-901

TEL 072-821-5244 FAX 072-821-5245

e-mail : hayashi-giken@mocha.ocn.ne.jp

URL : <https://www.hayashigiken.com/>